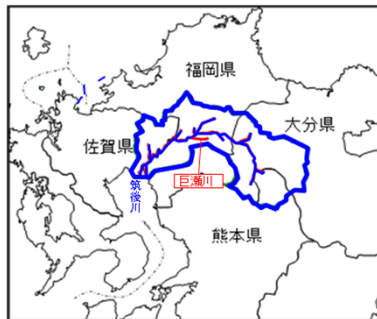


筑後川水系巨瀬川流域 緊急治水対策プロジェクト

～流域のあらゆる関係者が協働し、水害、土砂災害に対する強靱な地域づくりの推進～

- 令和5年7月豪雨により甚大な被害が発生したことを踏まえ、国・県・市等が連携し、河道掘削、築堤、樋門・樋管整備、橋梁改築、砂防堰堤整備等の取り組みを集中的に実施することにより、令和5年7月豪雨に対して、家屋など流域における浸水被害の軽減を図るとともに、土砂・流木災害を軽減し、強靱な地域づくりを目指す。
- 令和6年出水期に向けて、河川内の堆積土砂等の掘削や防災情報の充実等を緊急的に実施する。

【位置図】



■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

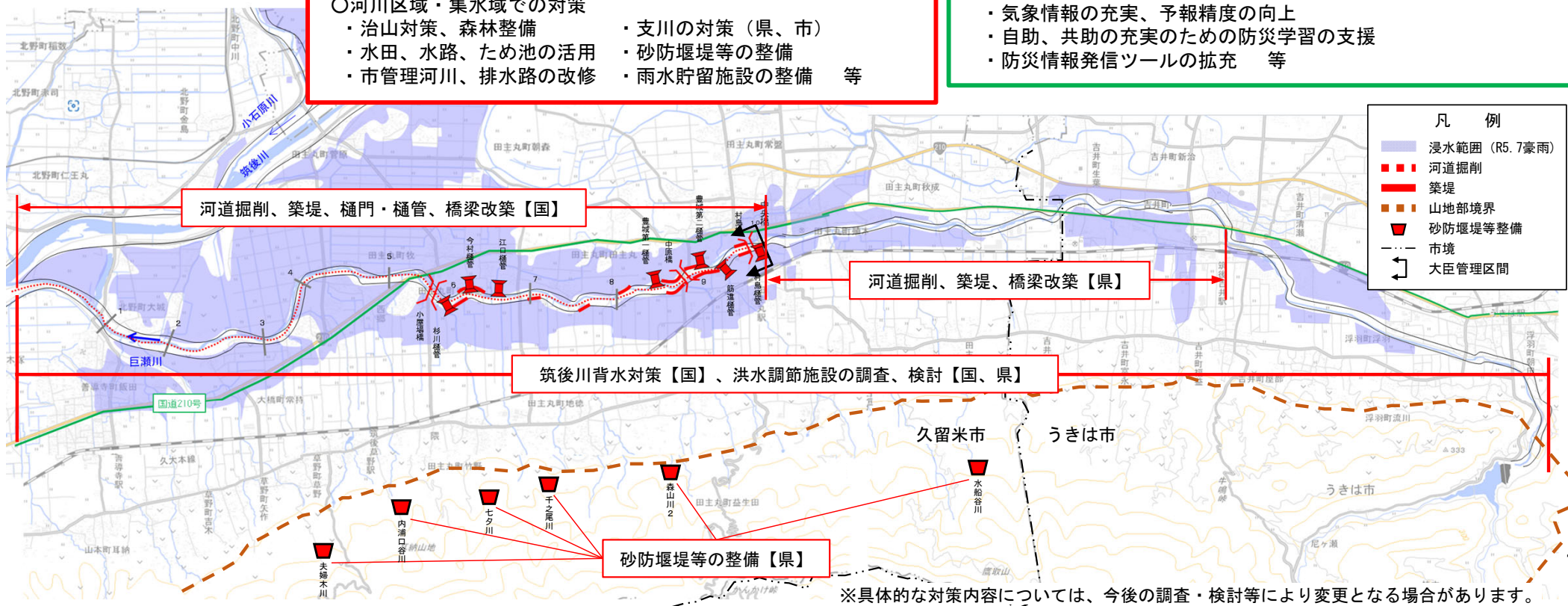
- 河川区域での対策
 - ・ 【国】 河道掘削、築堤、樋門・樋管、橋梁改築
 - ・ 【県】 河道掘削、築堤、橋梁改築
 - 事業期間：概ね5年間
 - ・ 筑後川背水対策、洪水調節施設
 - 調査・検討に着手
- 集水域での対策
 - ・ 砂防堰堤等の整備
 - 事業期間：概ね5年間
- 河川区域・集水域での対策
 - ・ 治山対策、森林整備
 - ・ 支川の対策（県、市）
 - ・ 水田、水路、ため池の活用
 - ・ 砂防堰堤等の整備
 - ・ 市管理河川、排水路の改修
 - ・ 雨水貯留施設の整備 等

■ 被害対象を減少させるための対策

- 氾濫域での対策
 - ・ 多段階の浸水リスク情報の充実
 - ・ 土砂災害警戒区域等の見直し
 - ・ 災害リスクを踏まえた土地利用の取組 等

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 氾濫域での対策
 - ・ 危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの増設
 - ・ 浸水センサの設置
 - ・ 洪水予測の高度化
 - ・ 気象情報の充実、予報精度の向上
 - ・ 自助、共助の充実のための防災学習の支援
 - ・ 防災情報発信ツールの拡充 等



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

筑後川水系巨瀬川流域 緊急治水対策プロジェクト

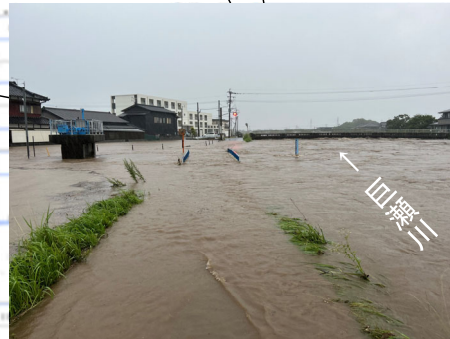
事業期間: 概ね5年間

～氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策～ 巨瀬川の河川整備【国管理区間】

- 令和5年7月豪雨では、巨瀬川国管理区間において全川にわたり計画高水位を超過し、多くの区間で越水により氾濫し、甚大な被害が発生した。これを踏まえて、巨瀬川の国管理区間において集中的に河道掘削、築堤、樋門・樋管整備、橋梁改築を実施し、流域における家屋などの浸水被害の軽減を図る。



巨瀬川左岸7k200付近の越水状況



巨瀬川左岸10k000付近の越水状況



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

筑後川水系巨瀬川流域 緊急治水対策プロジェクト

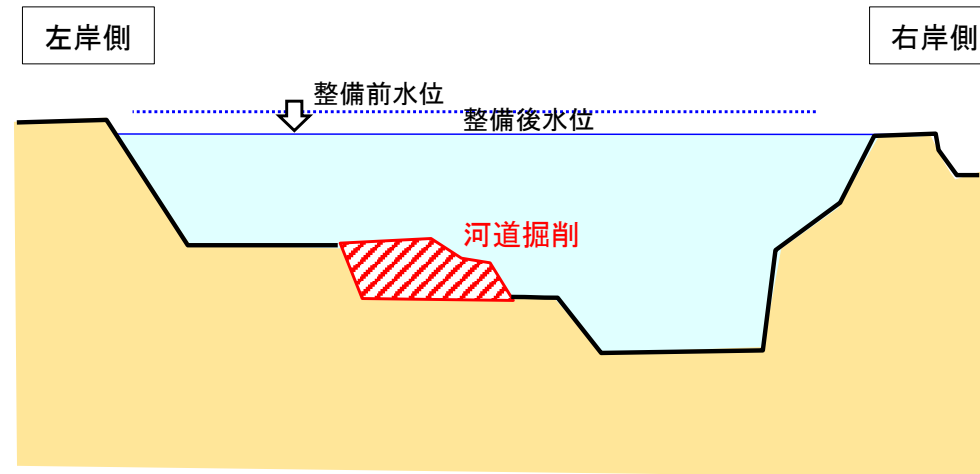
事業期間: 概ね5年間

～氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策～ 巨瀬川の河川整備【国・県管理区間】

河道掘削

- 河岸や高水敷の掘削を行い、洪水が流下する断面を拡大することにより、洪水時の水位を低減させる。

整備イメージ



巨瀬川2k800付近

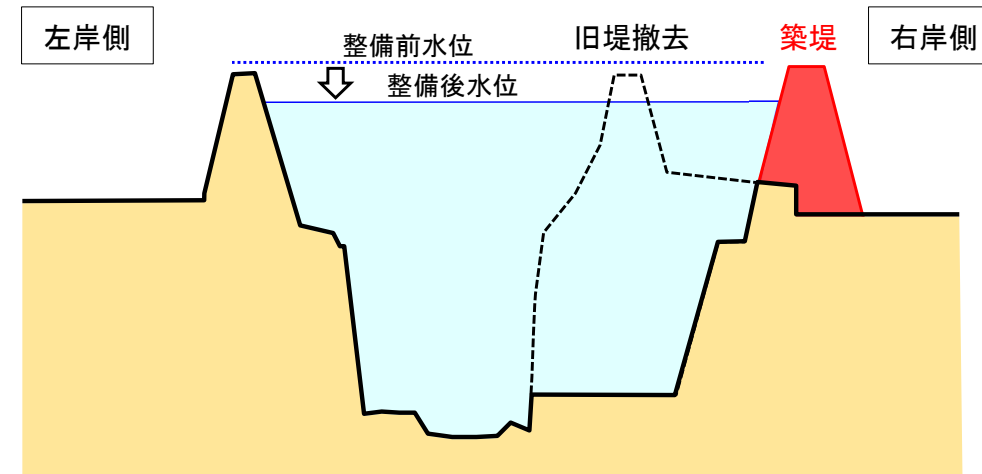


巨瀬川9k600付近

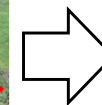
堤防整備（築堤、旧堤撤去）

- 洪水を安全に流すための能力が不足している区間において、川幅を広げるための堤防整備（築堤、旧堤撤去）を行うことにより、洪水時の水位を低減させる。

整備イメージ



整備前



整備中

筑後川水系巨瀬川流域 緊急治水対策プロジェクト

～氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策～ 巨瀬川の河川整備【国・県管理区間】

事業期間: 概ね5年間

樋門・樋管整備

- 洪水時に巨瀬川からの逆流を防止するため、樋門・樋管の整備を行う。

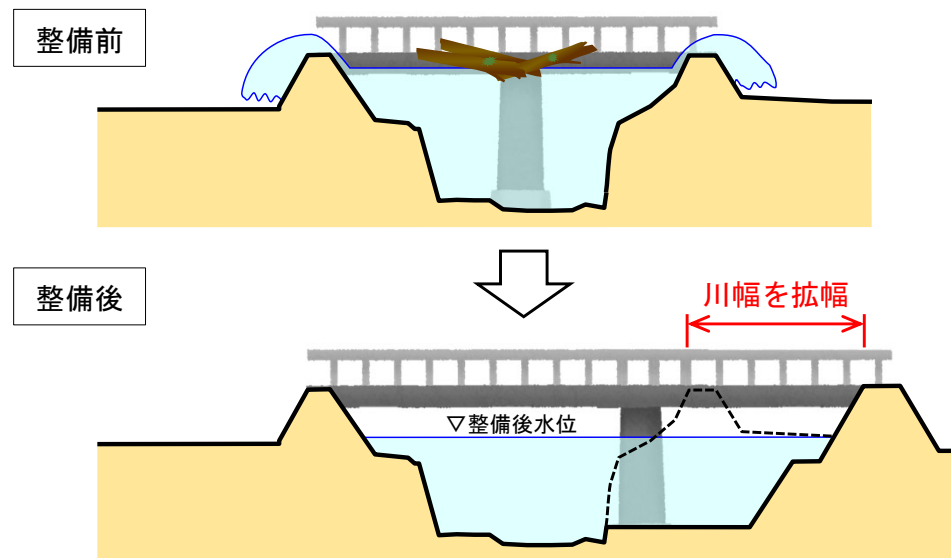
整備イメージ (杉川樋管)



橋梁改築

- 洪水を安全に流すために支障となっている橋梁の改築を行い、洪水が流下する河川断面を拡大することにより、洪水時の水位を低減させる。

整備イメージ



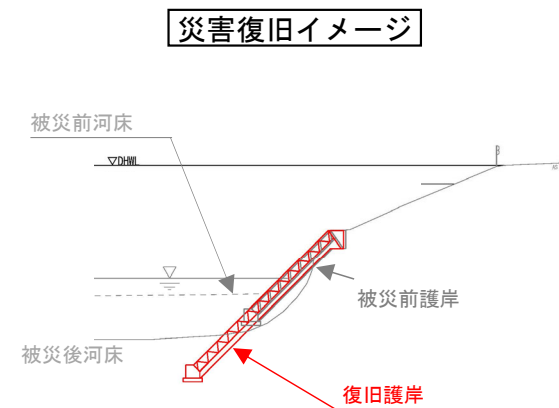
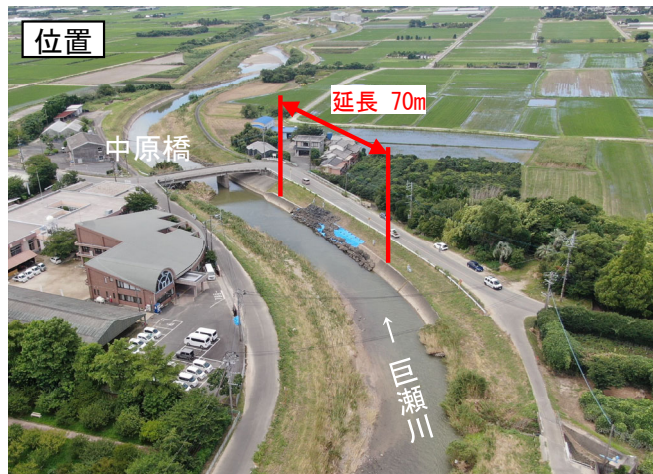
筑後川水系巨瀬川流域 緊急治水対策プロジェクト

速やかに実施

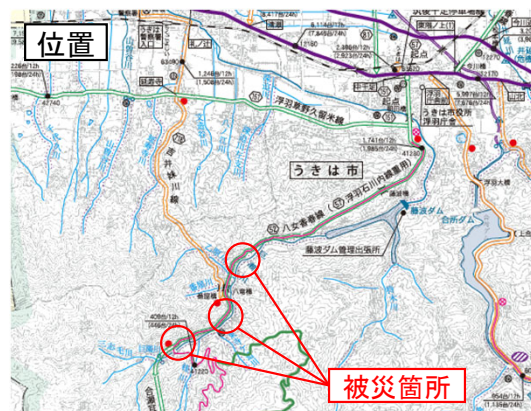
～氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策～ 巨瀬川の災害復旧【国・県管理区間】

- 令和5年7月豪雨により、護岸損傷等の被害が生じた巨瀬川右岸9k050付近（久留米市）や左岸14k900付近（うきは市）他において、災害復旧工事を実施する。

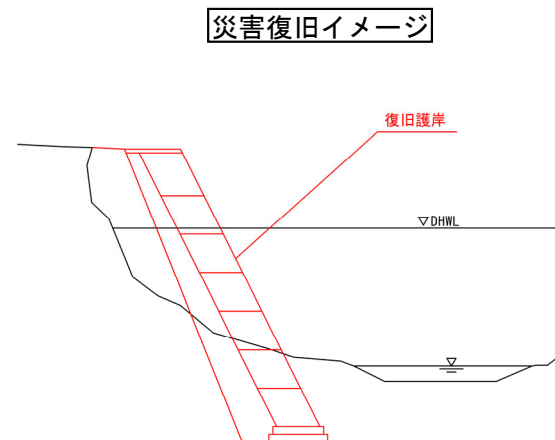
復旧範囲（右岸9k015～9k085）



復旧範囲（左岸14k900～16k700付近）



被災状況（左岸14k900付近）



※上記の災害復旧箇所は、国・県管理区間の代表箇所を表示している。

筑後川水系巨瀬川流域 緊急治水対策プロジェクト

～氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策～ 砂防堰堤等の整備【福岡県】

事業期間：概ね5年間

- 令和5年7月豪雨により、土砂や流木が住宅地等へ流出した箇所において、砂防堰堤等の整備を行う。

～砂防堰堤等の整備～

整備イメージ図



土石流捕捉イメージ図



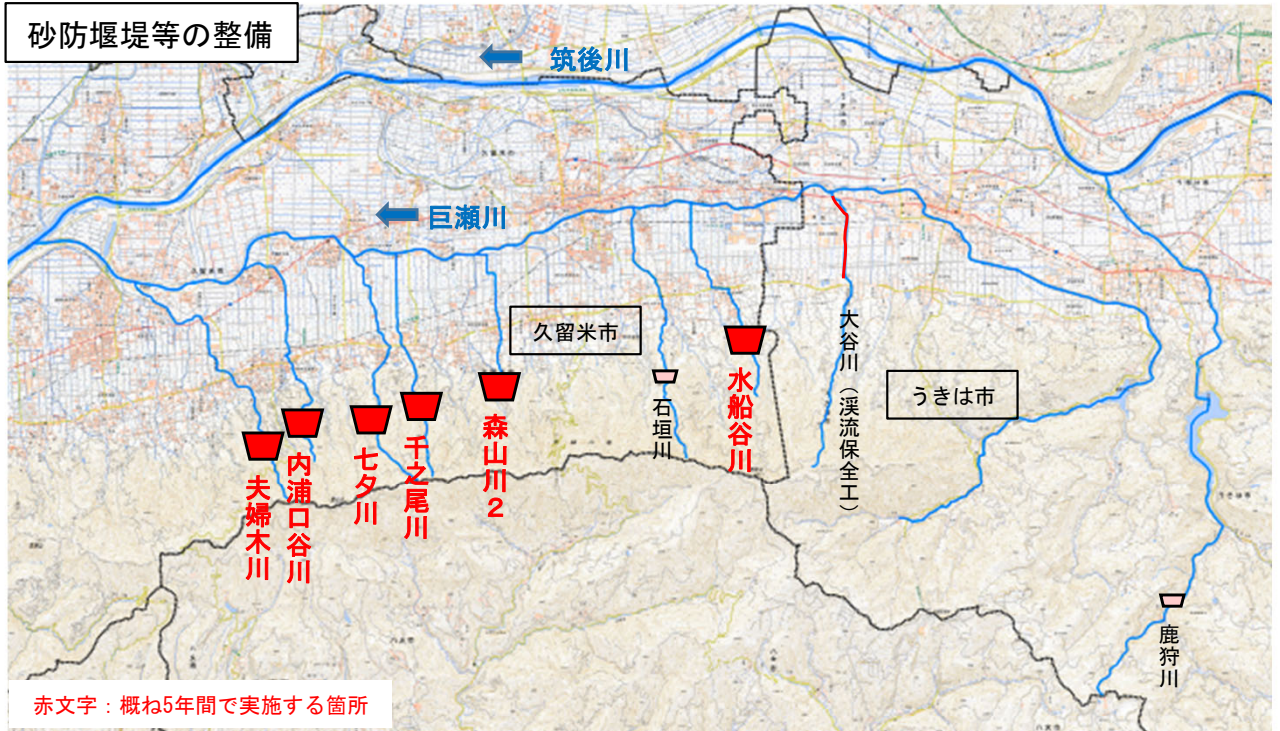
土石流捕捉前



土石流捕捉後



砂防堰堤等の整備

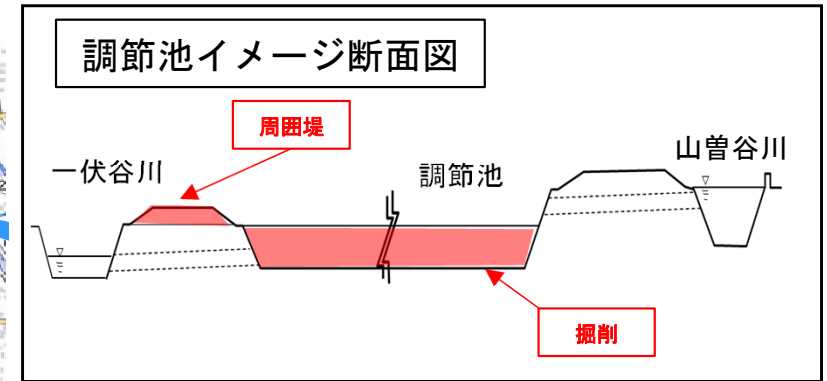
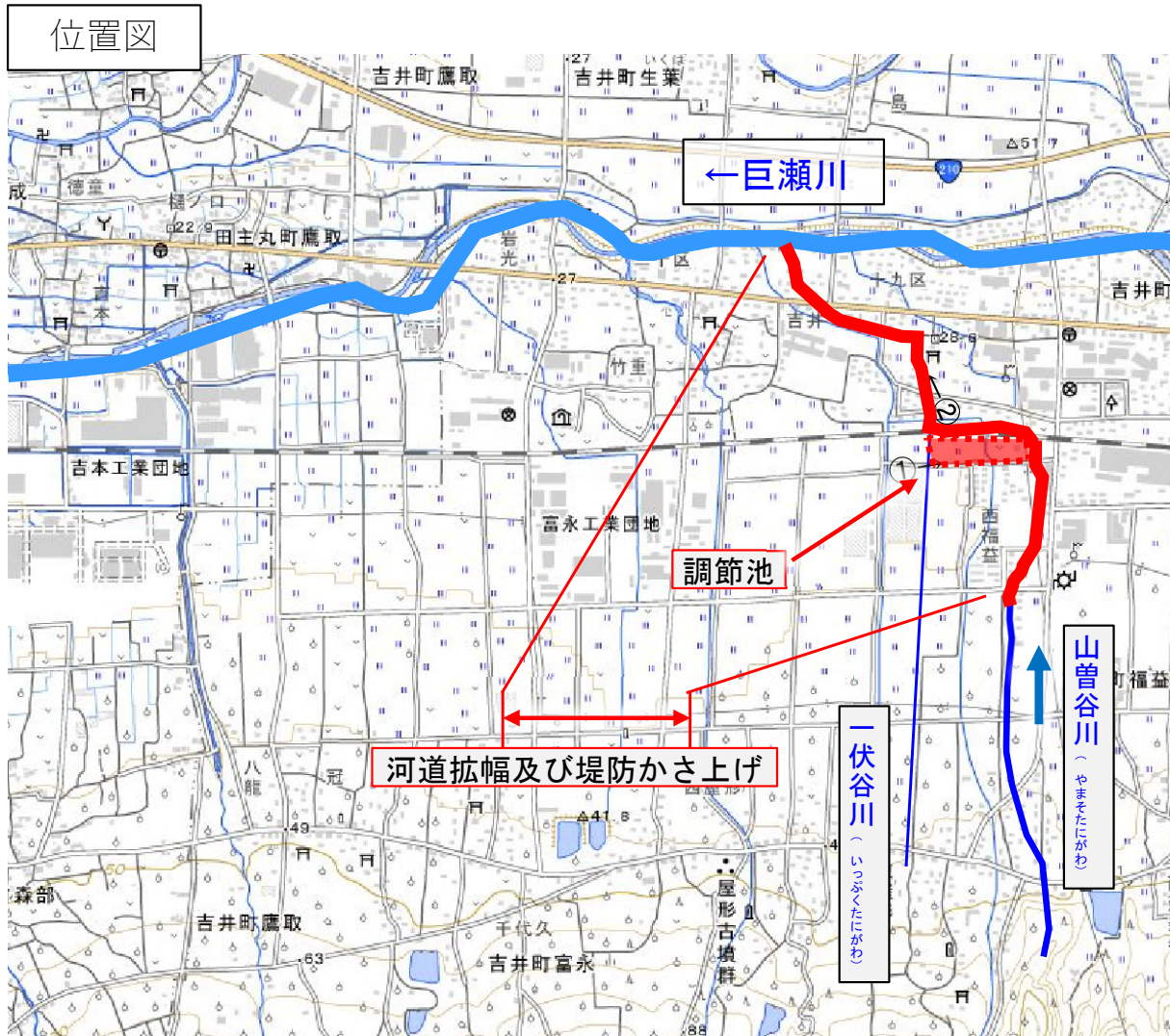


赤文字：概ね5年間で実施する箇所

筑後川水系巨瀬川流域 緊急治水対策プロジェクト

～氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策～ 支川（山曾谷川）の対策【福岡県】

- 令和5年7月豪雨では、うきは市を流れる^{やまとにがわ}山曾谷川において、溢水により甚大な被害が発生した。これを踏まえて、山曾谷川では洪水調節池の整備を集中的に実施し、同規模洪水に対して浸水被害を軽減するための河川整備を推進する。



写真①



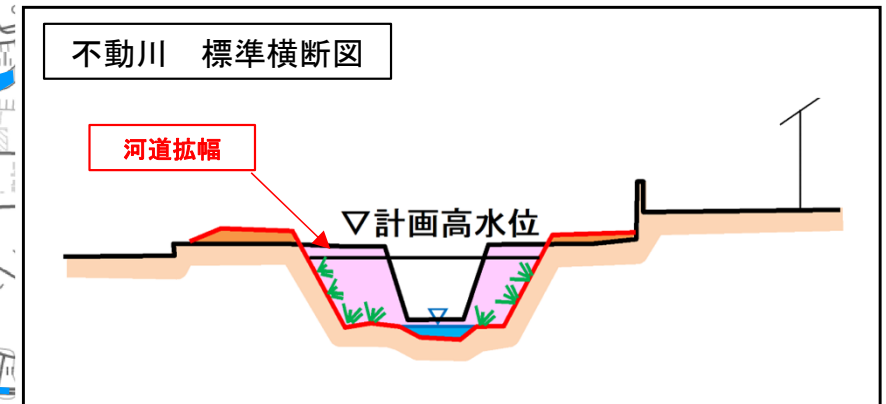
写真②



筑後川水系巨瀬川流域 緊急治水対策プロジェクト

～氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策～ 支川（不動川・藤町川）の対策【福岡県】

- 令和5年7月豪雨では、久留米市を流れる不動川・藤町川において、溢水等により甚大な被害が発生した。これを踏まえて、不動川・藤町川では、河道拡幅や築堤等の整備を集中的に実施し、同規模の洪水に対して浸水被害を軽減するための河川整備を推進する。



写真①



藤町川の溢水状況

筑後川水系巨瀬川流域 緊急治水対策プロジェクト

～氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策～ 【福岡県】

- 巨瀬川の県管理区間及び、支川の県管理区間において、令和5年7月豪雨により堆積した土砂等の撤去を実施する。

位置図



三光川（さんこうがわ）

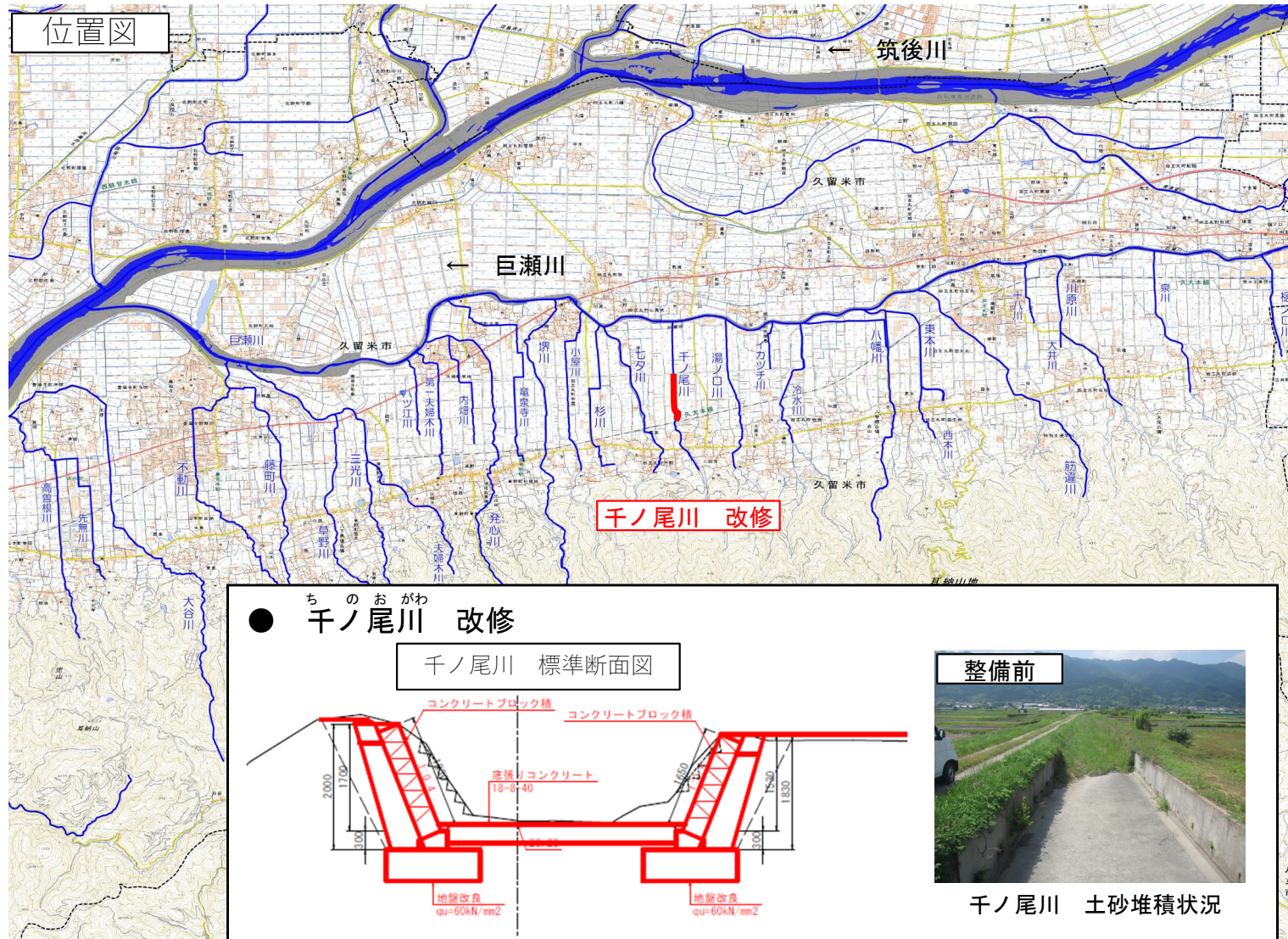
山曾谷川（やまそたにがわ）



筑後川水系巨瀬川流域 緊急治水対策プロジェクト

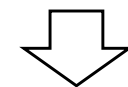
～氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策～ 市管理河川の改修【久留米市】

- 令和5年7月豪雨では、久留米市を流れる千ノ尾川^{ちのおがわ}において、護岸の損壊や溢水等により甚大な被害が発生した。これを踏まえて、千ノ尾川の護岸を整備し、浸水被害を軽減するための河川改修を推進する。
- 流下能力向上のため、巨瀬川支川の市管理河川、排水路に堆積した土砂等を撤去する。



- 河川・排水路の土砂撤去

土砂堆積状況に応じて、河川や排水路の土砂撤去を実施する。

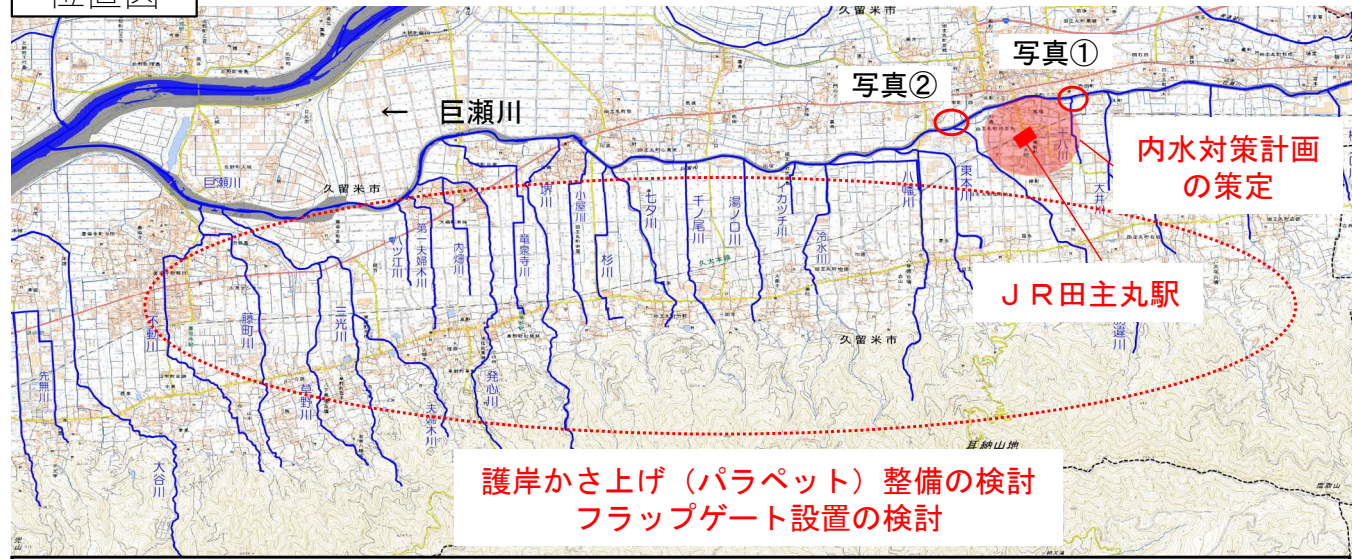


筑後川水系巨瀬川流域 緊急治水対策プロジェクト

～氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策～ 支川の対策【久留米市】

- 近年の豪雨や令和5年7月豪雨により、JR田主丸駅周辺にて内水被害が発生したため、内水被害の軽減を目的とする計画を策定する。
- 河川・排水路からの溢水や逆流防止を目的に、国・県管理河川の整備にあわせ、背後地の状況を踏まえた護岸かさ上げ整備やフラップゲートの設置を検討する。

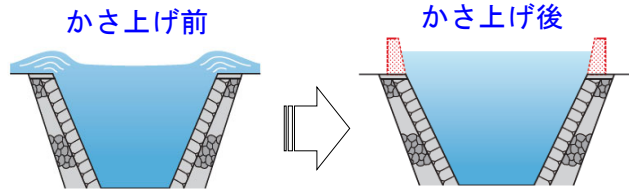
位置図



護岸かさ上げ（パラペット）整備の検討
フラップゲート設置の検討

●護岸かさ上げ（パラペット）整備の検討

護岸を高くして河川・排水路からの溢水を防止する。

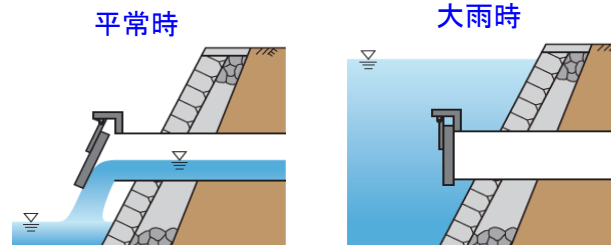


整備後の状況



●フラップゲート設置の検討

平常時は水の流れて扉が開き、河川へ排水を行う。河川の水位が上昇すると、扉が閉まり河川からの逆流を防止する。



●内水対策計画の策定（JR田主丸駅周辺）

写真①



巨瀬川10k000付近の浸水状況

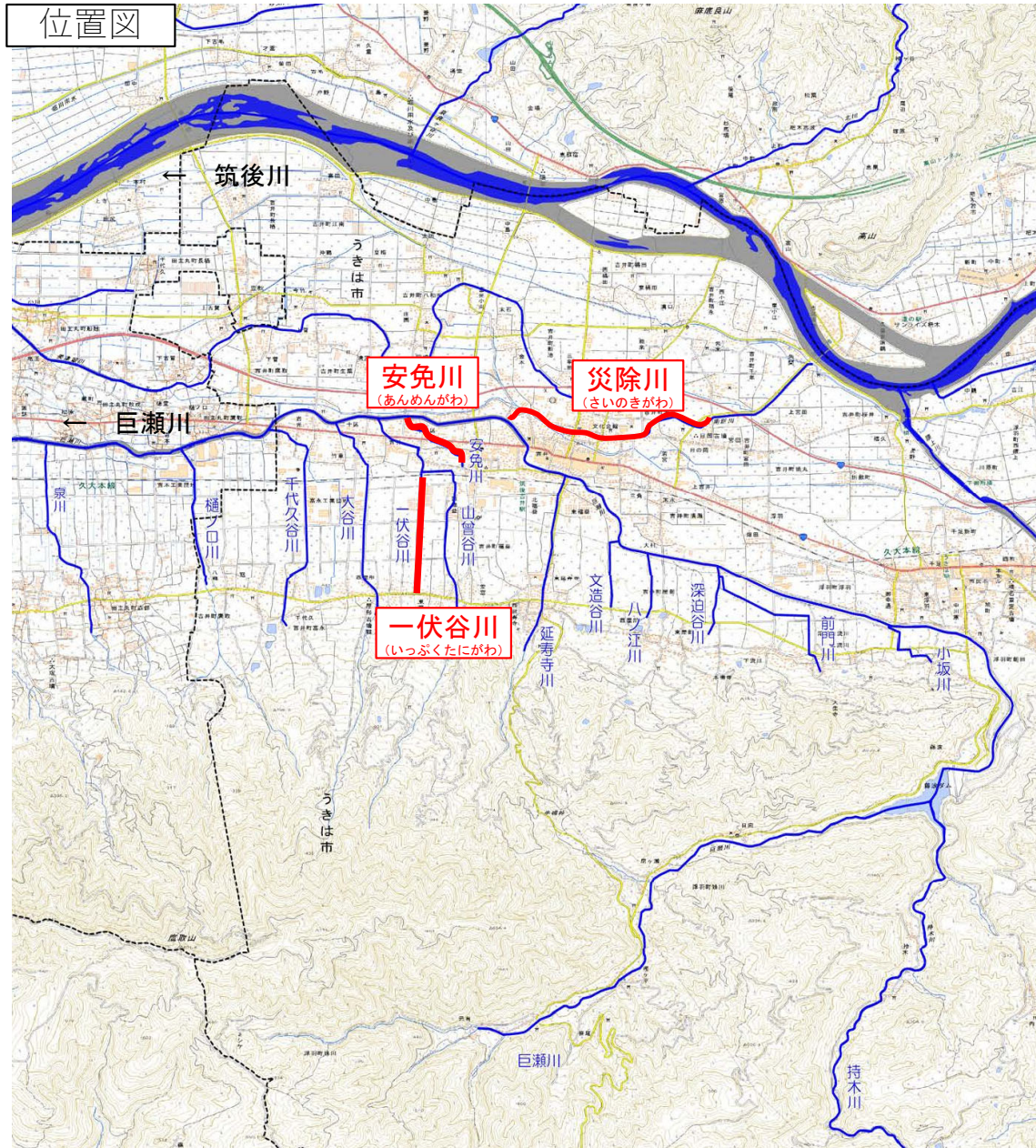
写真②



筑後川水系巨瀬川流域 緊急治水対策プロジェクト

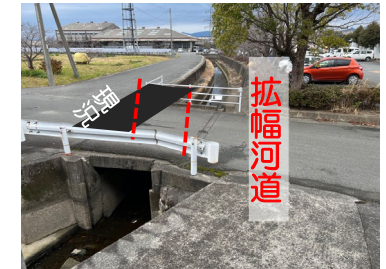
～氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策～ 市管理河川、排水路の改修【うきは市】

- 溢水の要因となっている狭窄箇所や河川断面拡大の市管理河川、排水路の改修を実施する。



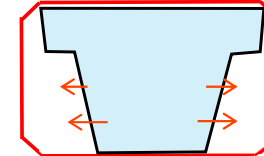
● 改修

河道断面拡幅（堰・橋の改修）を行い、流下能力の向上を図る。



あんめんがわ
安免川

断面拡大のイメージ



■改修の効果

1.4倍の河川断面の拡大

($2.84\text{m}^2 \Rightarrow 3.96\text{m}^2$)

3倍の流量アップ

($2.6\text{m}^3/\text{s} \Rightarrow 7.7\text{m}^3/\text{s}$)

● 河川、排水路の土砂撤去

流下能力向上のため、巨瀬川支川の市管理河川や排水路に堆積した土砂撤去を実施する。



さいのきがわ
災除川

筑後川水系巨瀬川流域 緊急治水対策プロジェクト

～氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策～ 治山対策、森林整備【福岡県・久留米市・うきは市】

- 耳納山麓の森林を保全することにより、土砂流出および流木を抑制し、土砂災害の被害軽減に繋げる。
- 地形地質や森林の状態等を踏まえ、治山対策及び森林整備を進めるとともに、持続的な対策に向けた取組みを行う。

～治山対策～

荒廃溪流の安定化や山腹崩壊地の復旧を目的として治山施設を整備する。



治山ダム

山腹工

治山ダムの設置により荒廃した溪流内の土砂流出を抑制、また、山腹工により山腹斜面の侵食や崩壊の拡大防止を図る。

～森林整備～

将来にわたって、森林の持つ多面的機能が持続的に発揮されるよう、適切な間伐の実施や主伐後の再造林などによる森林整備を推進する。

適切な間伐の推進

適切な間伐などを行うことで、下層植生とともに樹木の根が発達することにより、水源涵養機能や土壌保全機能が向上し、洪水が緩和され土砂流出を抑制する。これにより、山地災害の未然防止に繋がる。



間伐されず下層植生が喪失している森林



適切に間伐され、下層植生が繁茂している森林

山地保水機能の向上

下層植生が殆どない箇所などに、間伐材を等高線上に並べる「筋工」を設置し、雨水による地表流が発生した場合の、流速の低減や土砂の流出抑制を図る。



針葉樹と広葉樹が混在する森林

～危険木等の除去～

危険木等を事前に除去し、豪雨時における流木の発生を防止する。



危険木等の堆積

危険木等の除去

梅雨期前に堆積した危険木等を除去。(久留米市)
既設の治山ダムに堆積した危険木等を除去。
(福岡県)

針広混交林へ誘導

荒廃の恐れのある森林において、間伐率を通常よりも高く設定した強度間伐などにより、広葉樹の導入を促し、針葉樹と広葉樹が混在する森林へ誘導する。

～未利用材の活用～

「うきは未利用材活用プロジェクト」【うきは市】

森林整備を推進し災害リスクを軽減するため、林地残材を持ち出し、有効利用を実施する。事業者に補助金を交付する。



山に放置された木材

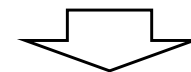


チップ化した木材

～森林経営管理制度の推進～

【久留米市】

- ・ 森林の状況を把握 (3次元データ)
- ・ 所有者の意向を把握 (意向調査、所有者不明森林の調査)



森林整備の方針を検討



3次元データ表示例

筑後川水系巨瀬川流域 緊急治水対策プロジェクト

～氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策～ 水田、ため池、水路の活用【久留米市・うきは市】

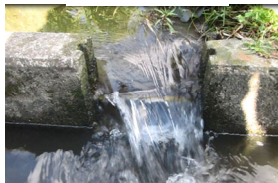
- 久留米市では、流域の貯留機能を向上させるため、令和4年度より田んぼダムを実施している。今後も継続し、実施エリアを拡大予定である。
- うきは市では、気象庁より大雨警報の発令確率「高」が発表された段階で、流域治水プロジェクト推進会議メンバーが集合し、今後の対応を協議。水路、ため池、水田の事前放流基準を設定し、各段階に応じて協力依頼を行っている。
- ため池の改修などにより、大雨時の被害発生防止を図る。

～水田、ため池、水路の活用～

「水田の貯留機能向上」【久留米市】

水田に雨水を一時的に貯留し、ゆっくり排水することで、洪水の軽減を図る。今後も実施エリアを拡大予定。また、最も効果的な堰板を検証。

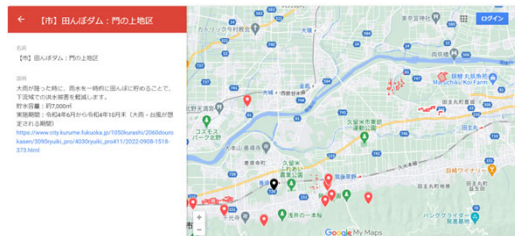
堰板設置前



堰板設置後



田んぼダム実施中
をPRするノボリ旗



HPで田んぼダムなど雨水貯留機能確保の実施箇所を掲載

「事前放流基準の策定」【うきは市】

大雨予報に対する上記の事前放流等の実施基準を設定

STEP1：警報確率「高」かつ24時間予想雨量200ミリの場合

①水路、ため池の事前放流準備

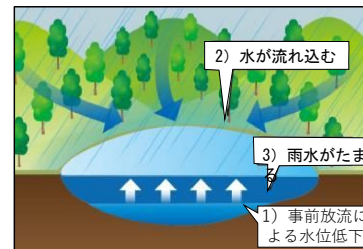
STEP2：警報確率「高」かつ24時間予想雨量250ミリの場合

②水路、ため池の事前放流

STEP3：警報確率「高」かつ24時間予想雨量300ミリの場合

上記②に加え
③水田の水の事前放流

防災行政無線、電話連絡にて関係者（堰、ため池管理者）へ協力依頼



貯留可能な雨量のイメージ

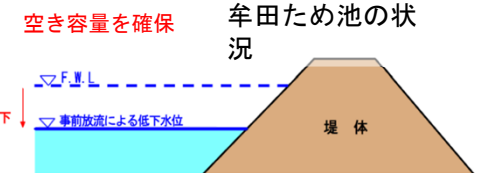


水路の事前放流



「ため池の事前放流」【久留米市】【うきは市】

農業用ため池を低水位管理し、事前放流を実施。今後実施箇所を拡大予定。



「ため池の改修」【うきは市】

老朽化したため池の改修を実施、決壊による被害発生を防止。



堤体を補強



ため池浚渫

筑後川水系巨瀬川流域 緊急治水対策プロジェクト

～氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策～ 【福岡県・久留米市・うきは市】

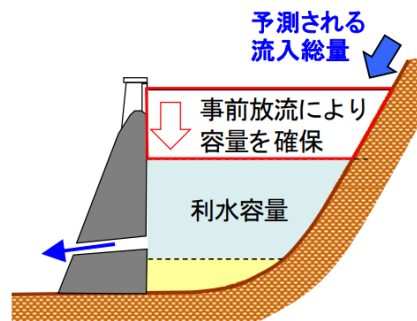
- 藤波ダム(管理者：福岡県)において、「既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた基本方針(令和元年12月)」に基づき締結した「治水協定(令和2年5月29日)」による事前放流を実施する。
- 久留米市、うきは市では、水路などの既存排水施設の維持管理及び雨水貯留施設の設置を促進させることで河川への流出緩和を図っている。引き続き実施し、浸水被害の軽減を図る。

～藤波ダムの事前放流～ 【福岡県】

藤波ダムにおいて、事前放流を実施することで、水害対策に使える容量を増加。



藤波ダム



～排水施設の維持管理～

「地域住民による維持管理」【うきは市】

排水機能を確保するために、地域住民に排水施設を維持管理し、浸水被害の軽減を図る。
農業用水路は、多面的機能支払交付金を活用する。



地域による水路等の維持管理

「みんなで流域治水！」【久留米市】

令和5年5月に地域住民、大学生、高校生、建設業者及び市職員にて田主丸町内を含む久留米市内各地で排水路の土砂撤去及び除草を実施。
企業や行政、ボランティアなどが協働で取り組むことで、浸水被害の軽減と防災意識の高揚を図る。



排水路の土砂撤去状況 (久留米市田主丸町)

～雨水貯留機能の向上～

「雨水流出抑制施設・整備補助の検討」 【久留米市】

流出量の低減を図るため、雨水貯留や浸透させる施設の整備に対する補助を検討する。



浸透枘のイメージ



透水性舗装施工例

「雨水貯留タンクの設置」【久留米市】

公共施設に雨水貯留タンク設置し、流出抑制を図るとともに、浸水被害の軽減に対する市民意識の向上および啓発を図る。
一般住宅には設置補助金を交付する。



設置を促すリーフレット

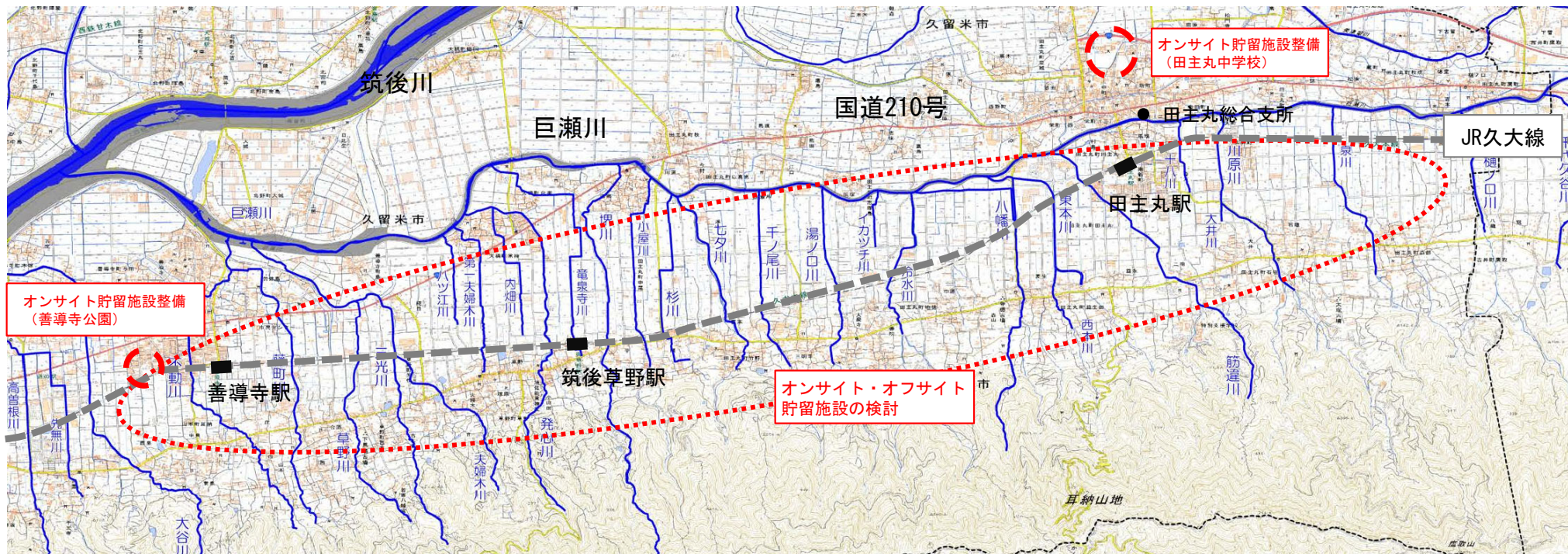


公共施設に設置した雨水貯留タンク

筑後川水系巨瀬川流域 緊急治水対策プロジェクト

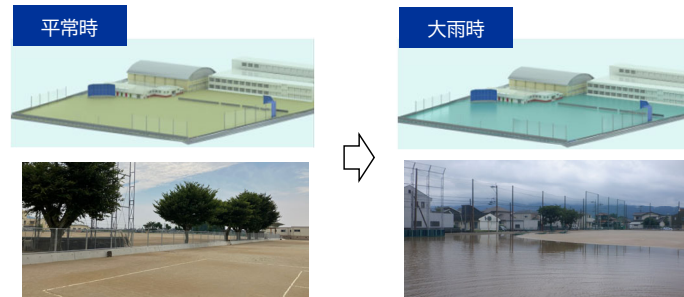
～氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策～ 雨水貯留施設の整備【久留米市】

- 久留米市では、ピーク流量をカットし氾濫被害の軽減を図るために、雨が降った場所で貯留する「オンサイト貯留施設」や河川等で一定水位を超えた雨水を一時的に貯留する「オフサイト貯留施設」の検討及び整備を行う。



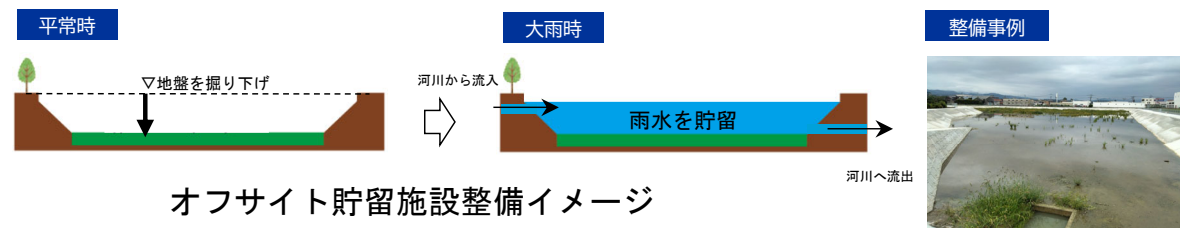
● オンサイト貯留施設の検討及び整備

オンサイト貯留施設：小堤等により地表面の雨水を集水し貯留する施設



● オフサイト貯留施設の検討及び整備

オフサイト貯留施設：河川等からの雨水を貯留施設に導き、一時的に貯留する施設（候補地について検討）



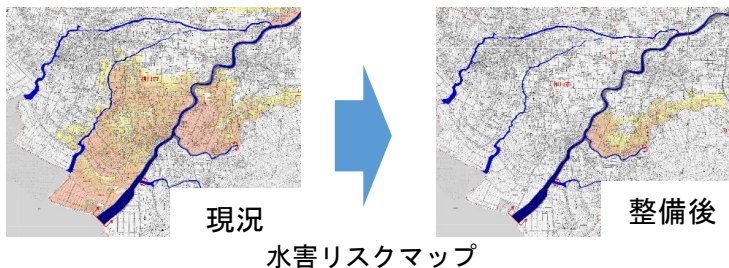
筑後川水系巨瀬川流域 緊急治水対策プロジェクト

～被害対象を減少させるための対策～ 【国・福岡県・久留米市・うきは市】

- 国土交通省では、災害リスクを踏まえた防災まちづくりを推進するために、多段階浸水想定図及び水害リスクマップを作成。
- 土地利用規制等により、貯留機能を持つ土地の保全を推進する。

～多段階の浸水リスク情報の充実～ 【国土交通省】

土地利用や住まい方の工夫、災害リスクを踏まえた防災まちづくりを推進するため、降雨規模毎に応じた想定浸水範囲（多段階浸水想定図）や河川整備の進捗状況に応じた浸水範囲（水害リスクマップ）を作成・公表済みである。



～貯留機能を持つ土地の保全～

「生産緑地制度」の導入【久留米市】

農地の持つ多面的機能（緑地機能、雨水の貯留機能等）に着目し、その維持に資する良好な農地を保全する趣旨で令和3年度に制度を導入。
→ 巨瀬川流域も対象区域拡大（市街化区域）

1. 生産緑地制度とは

良好な都市環境を形成することを目的として、都市計画に生産緑地地区を定め、市街化区域内の農地等を計画的に保全する制度です。生産緑地地区に指定されると、30年間農地等としての管理義務が発生します。本制度については、農地所有者が他の営業者に賃借を行う場合においても適用できます。
(固定資産税等軽減措置の概要)

メリット	課税
・ 固定資産税等の軽減措置	市街化区域内農地 宅地並評価に基づく農地に準じた課税
デメリット	
・ 建築物の建築等の制限	生産緑地地区 農地評価に基づく農地課税 市街化調整区域内農地

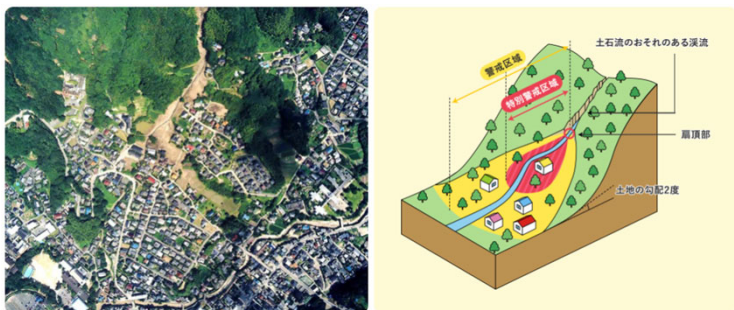
中山間地域での農地保持を推進【うきは市】

荒廃地所有者への利用の意向確認を実施し、農地集約を行い荒廃農地を減らす。



～土砂災害警戒区域等の見直し～ 【福岡県】

土砂災害による地形の改変や被害状況を踏まえ、土砂災害警戒区域等の見直しを行い、住民に対して警戒避難を促す。



～災害リスクを踏まえた土地利用の取組～【久留米市】

居住誘導区域内や居住誘導区域外での土地利用規制を検討

① 居住誘導区域内

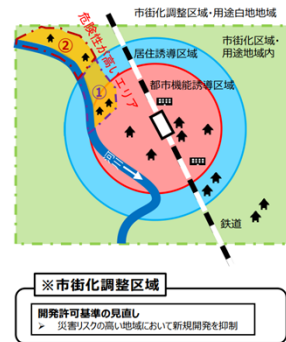
- 誘導区域の見直し
 - 一定規模以上の建築物を建築する場合は、届出が必要
 - 立地の誘導を図るうえで支障がある場合は、勧告・公表を行う

② 居住誘導区域外

- 居住調整地域
 - 誘導区域外の地域を指定することが可能で、指定された地域においては3戸以上の住宅の建築やその他の開発行為等が制限される。(市街化調整区域のみなし)
- 市街化調整区域への編入（逆誘引）
 - 市街化区域を市街化調整区域へ編入することで、開発の抑制を行う。都市計画法第34条の立地基準を満たす建築物の建築のみ認められる。
- 災害危険区域
 - 建築基準法第39条の規定に基づき、条例により住宅の用に供する建築の禁止等、建築物の建築に関する規制を行うことができる。急傾斜地崩壊危険区域については指定済。

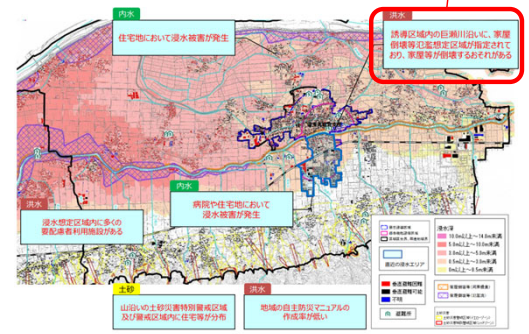
※市街化調整区域

- 開発許可基準の見直し
 - 災害リスクの高い地域において新規開発を抑制



災害リスクの見える化、課題の整理

家屋倒壊等氾濫想定区域などに指定されている場合は、居住誘導区域外になっている。



土地利用の見直し
(久留米市HPより)

久留米市HP防災指針より

筑後川水系巨瀬川流域 緊急治水対策プロジェクト

～被害対象を減少させるための対策～ 建物内の使い方の工夫等【福岡県】

- 巨瀬川沿いに立地している福岡県立浮羽工業高校においては、過去の豪雨によりこれまでも数回浸水被害を受けている。
- 令和3年度から実施している老朽化による大規模改造工事（～令和10年度（予定））に合わせて、浸水被害を減少させるための対策を講ずる。



屋外キュービクル式受変電設備のかさ上げ【令和3年度整備済み】

（対策内容）

- ・ 浸水被害を受けた際に、受変電設備への浸水により、復旧が遅れたことから、受変電設備の浸水対策を検討した。
⇒ 過去の浸水深を踏まえて、コンクリート基礎打設により地盤面から1m程度かさ上げ。

（期待される効果）

- ・ 電源確保による学校の早期再開。
⇒ 令和5年7月の豪雨では、1階部分はほぼ床上浸水したものの、受変電設備の被害はなく、速やかに電力復旧することができた。



【第1受変電設備】



【第2受変電設備】

職員室の上階移設【令和5～6年度整備予定】

（対策内容）

- ・ 大規模改造工事に合わせて、1階にある職員室を2階へ移設する。
- （期待される効果）
- ・ 職員室を上階に配置することで、浸水による重要書類の毀損を防止する。



浮羽工業高校外観写真

雨水浸透施設の整備【令和3～10年度整備予定】※一部整備済み

（対策内容）

- ・ 大規模改造工事に合わせて、雨水浸透施設（浸透枡、透水性アスファルト舗装等）を積極的に採用する。

（期待される効果）

- ・ 学校敷地内で雨水を処理することにより、外部への流出を減らし、氾濫防止に寄与する。

浸透枡
透水性アスファルト舗装



浮羽工業高校

筑後川水系巨瀬川流域 緊急治水対策プロジェクト

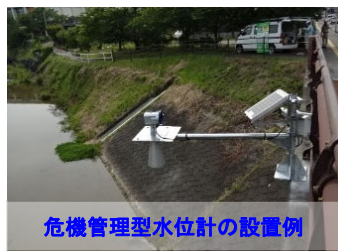
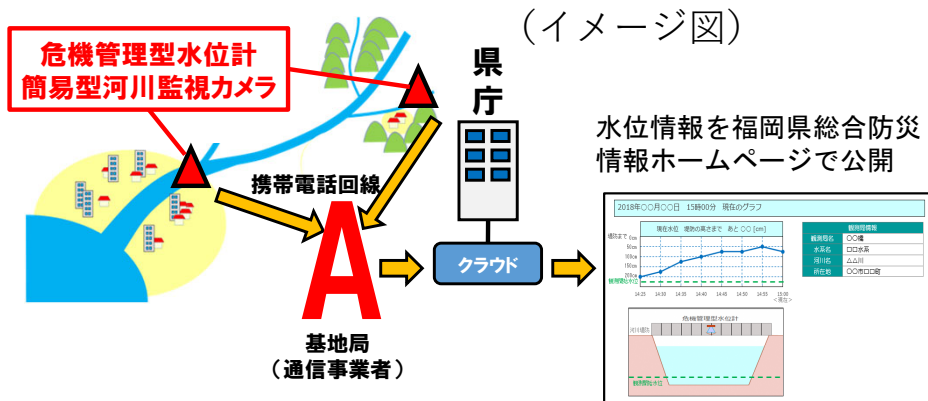
～被害の軽減、早期復旧・復興のための対策～

命を守る行動につながる対策【国・福岡県・久留米市・うきは市・福岡管区气象台】

- 住民の避難行動につながるきめ細やかな情報提供を行い、地域の人々の「迅速かつ的確な避難」と災害による被害の「最小化」を図るための取組を推進する。

～危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの増設～

福岡県では、水位計及び河川監視カメラを増設することで避難判断に資する水位情報の充実を図る。



～防災士等への研修、助成～

防災の専門知識の普及や先進事例の情報共有等を行い、防災士の地域防災活動を支援する。

自主防災組織へ防災用資機材の整備、防災訓練及び防災士の育成に対し、地域防災力強化事業補助金の交付を行う。

防災士スキルアップ研修【福岡県】



防災訓練の様子【うきは市】



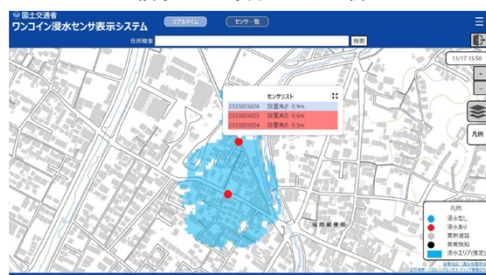
～浸水センサの設置～

浸水状況を迅速かつ的確に把握するための浸水センサの設置を検討する。

センサ設置状況例



浸水センサ表示システム例



～洪水予測の高度化～

国土交通省では、河川水位の予測精度の向上に取り組み、的確な避難情報の提供の充実を図る。



～気象情報の充実、予報精度の向上～

気象庁では、観測と予測の強化に取り組み、線状降水帯に関する情報提供の充実を図る。気象防災情報の利活用の促進、線状降水帯発生予測の高度化を図る。



筑後川水系巨瀬川流域 緊急治水対策プロジェクト

～被害の軽減、早期復旧・復興のための対策～

命を守る行動につながる対策【国・福岡県・久留米市・うきは市・福岡管区气象台】

- 迅速かつ的確な防災情報の発表や平時における各種防災学習を通して、災害からの「逃げ遅れゼロ」を目指した住民主体の防災意識の高い社会の構築を図る。

～地域独自避難所の設置支援と避難ルートの確認支援～

「地域独自避難所の設置支援」

久留米市では、地域が市の指定避難所とは別に独自に開設・運営する避難所の設置を支援する。身近な地域集会所や民間施設を地域が借り、市は毛布等の備蓄品を提供する。



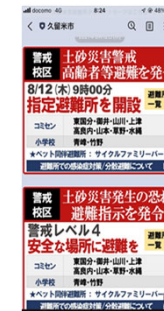
「避難ルートの確認支援」

うきは市では、日頃から災害に備えるため、過去の災害箇所や避難ルート及び避難所を確認する訓練を実施する。



～防災情報発信ツールの拡充～

久留米市では、避難情報を電話・FAXでお知らせする避難情報サービス（登録制）や市公式LINEでの発信など、防災情報を迅速かつ確に伝える取り組みの拡充を図る。



うきは市では、防災行政無線の戸別受信機に加え、屋外高性能スピーカーを設置する。スマホアプリによる発信を検討する。



～自助・共助の充実のための 防災学習の支援～

福岡県では、自主防災組織等のリーダーを対象とし、地域における「防災・減災」の活動を推進するための人材育成を目的とした研修会を実施している。



久留米市では、国・県と連携し、「マイ・タイムライン」の普及啓発及び防災教育を実施し、防災意識の醸成を図っている。



うきは市では「共助」に力を入れるため、自主防災組織にプッシュ型で講習会、訓練に取り組むとともに防災グッズの点検や貴重品は2階に移動するなどの啓発活動を行う。



気象庁では、自治体や地域住民を対象とした勉強会、講演会を実施する気象防災アドバイザー制度の活用を推進する。



福岡県では、現在地及び登録した県内市区町村の気象情報等を容易に入手できるスマートフォンアプリを開発し、令和4年12月から配信を開始している。

福岡県防災アプリ
「ふくおか防災ナビ・まもるくん」
【福岡県】



～防災アプリの運用～

久留米市では、災害時に地域役員や消防団員等に浸水被害の現場等の画像をLINEに投稿してもらい、地図上に表示し、閲覧することができるアプリを運用している。

災害情報投稿アプリ
「防災チャットボット」【久留米市】



うきは市では、市の防災情報やハザードマップ及び公共交通機関の運行情報などをまとめたアプリを運用している。

携帯用アプリ「防災すまっぼん」
【うきは市】

